



始良市立建昌幼稚園 園だより
笑顔あふれる 建幼の子
「いきいき・わくわく・のびのび」



一つ一つの「できた」を力に！

園庭のハクモクレンや菜の花が咲きほころび、春の気配が感じられるようになりました。園庭に吹く風の中にもほんのりと春のあたたかさが感じられます。いよいよ今年度も残すところわずかとなりました。

振り返れば、子供たちは毎日の遊びや生活の中で、できることを一つずつ増やし、友達とも心を通わせながら大きく成長してきました。

泣きながら登園した朝もありました。お友達との小さなすれ違いに心を痛めた日もありました。朝のあいさつが元気にできるようになりました。靴や服を自分で整えられるようになりました。思いが伝わらず涙する日もありましたが、少しずつ言葉で気持ちを伝えられるようになりました。等々……その一つ一つが、子供たち自身の力となり、次のステップへとつながっていきます。

保護者の皆様には、毎日の送り迎えやお子様の見守り、励まし、体調管理、行事へのご協力など、多方面から支えていただきました。この一年、園の教育に温かく寄り添っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

進級する子供たちは、新しい学年でさらにできることが増え、自分の思いを言葉にしながらか友達と過ごす時間を広げ、園生活をより豊かなものにしていくと思います。職員一同、その成長をこれからも近くで見守れることを大変うれしく思います。

そして、いよいよ卒園を迎える子供たちは、この幼稚園で、たくさんの「できた」を積み重ねてきました。笑った日も、がんばった日も、悔しかった日も、すべてが皆さんの力になっています。どうか胸を張って、小学校という新しい世界へ進んでください。先生たちは、皆さんが小学校へ旅立つことをうれしく思い、これからの歩みを心から応援しています。

残り少ない園生活も、子供たちにとって大切な思い出となるよう、職員一同、精一杯寄り添ってまいります。

たんぽぽ会の方々による読み聞かせ、保護者と先生の会による諸行事、家庭教育学級（サラダクラス）も計画的に実施していただきました。

皆様の園へのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

令和8年度も園の運営に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【4月の目標】

- 進級・入園を喜び、クラスの友達と一緒に園生活を楽しむ。
- 交通ルールをよく守って、登園・降園を行う。
- 身近な生き物に親しみをもって接し、花木や野菜など自然の成長や変化に関心を示す。

【4月の歌】

- 建昌幼稚園のうた
- 手をたたきましょう
- チューリップ

【お知らせ】

※ 令和8年度（4月6日）から、園アンケートの結果（不審者・安全対策）を受けて、駐車場側の通用門に鍵をかけるようにします。鍵をかける時間帯は、9:15頃～13:45頃です。鍵のかかっている時間帯に訪問される場合は、通用門から電話（65-2140）をかけていただくか、正門から入ってきていただきます。なお、行事や会等がある場合は、鍵は事前に開けるようにします。また、業者等には、正門から入っていただくようにします。ご不便やご面倒をおかけすることになるかもしれませんが、よろしくお願い致します。

お別れ遠足

2月27日(金)にお別れ遠足を行いました。残念ながら、当日は雨天のため、リズム室での園内遠足になりました。

ゲームをしたり、動画を見たり、踊ったりとレクリエーションを楽しみました。そして、みんなでいっしょにお弁当やおやつを食べました。

お別れ遠足は、友達や先生と楽しい時間を過ごしながら、幼稚園生活の思い出を深める大切な行事です。

レクリエーション活動を通して、友達と関わり合ったり、約束を守って行動したりしながら、異年齢とのつながりをより深めます。子供たちにとって心に残る一日となりました。



ひな祭り会

3日(火)は「ひな祭り」。昔から子どもの健やかな成長と幸せを願って行われてきた日本の伝統行事です。園では、この日に合わせて「ひな祭り会」を行い、子供たちと一緒に季節の行事に親しみました。会では、ひな祭りにまつわる紙芝居を見たり、歌を歌ったりしました。また、自分たちで作ったひな人形を紹介するなど、表現する喜びも味わっていました。

こうした伝統行事に触れる体験は、文化への興味を育てるだけでなく、「元気に大きくなってほしい」という大人の思いに気付く大切な機会にもなります。これからも、季節の移り変わりを感じながら、子供たちが心豊かに成長できるような活動を大切にしていきたいと思えます。



ありがとう会

11日(水)、卒園を迎えるきりん組さんへ、在園児みんなで感謝の気持ちを伝える「ありがとう会」を行いました。この一年間、きりん組さんは、行事や日々の生活の中で、幼稚園のお兄さん・お姉さんとして、優しく声をかけてくれたり、遊び方を教えてくれたり、たくさんのお手本を見せてくれました。

会の進行は、来年度の年長組となるこあら組が担当しました。ドキドキしながらも、しっかりと自分の役割を果たしました。在園児の子供たちから、大好きなきりん組のみなさんに「ありがとう」の気持ちを込めて歌や言葉、プレゼントを届け、卒園児のみなさんは優しいまなざしでその姿を見守っていました。

きりん組さんにとっては次のステップへの励ましとなり、りす組・こあら組さんにとっては、お兄さん、お姉さんの姿を胸に刻む、心あたまる時間となりました。



たんぽぽ会

13日(金)、今年度最後の「たんぽぽ会」による読み聞かせがありました。きりん組さんの赤ちゃんの頃から今日までの成長の様子や思い出を、紙芝居風にアレンジして読み聞かせ(題「ありがとう 17にんのきりん組さん」)をしてくださいました。きりん組の子供たちにとっては、きっと心に残る特別な「たんぽぽ会」になったのではないかと思います。ありがとうございました。

保護者のみなさんによる読み聞かせは、子供たちにとって特別な時間です。お家の方の声に近い“温かさ”や“安心感”に包まれながらお話を楽しむことで、物語への興味や言葉への感性が豊かに育っていきます。また、親以外の大人の語りに触れることで、「話をよく聞く」「場に落ち着いて参加する」といった社会性を育む貴重な機会にもなっています。読み聞かせをきっかけに、きっと、おうちでの絵本時間が増え、読書の習慣づくりにもつながっていくと思います。

たんぽぽ会のみなさん、これからも、子供たちと一緒に心豊かな時間を積み重ねていただければありがたいです。

